

杉山の歴史探検

1 杉山の校区紹介

平成16年度に杉山でウオークラリーをしました。その時に、職員で協力して作った杉山の案内図です。イラストは村田公志先生が描きました。



2、杉山の歴史紹介

平成15年度杉山小学校卒業生が、総合の学習で、杉山歴史探検隊というホームページを作りました。その中からいくつか紹介します。

詳しいことを知りたいときは、杉山歴史探検隊
(http://www.sugiyama-e.toyohashi.ed.jp/sugiyama-e/kodomo_page/tanken15/index.htm) を見てください。

(1) 杉山という名前はなぜつけられた？

杉山と言う名前は、昔々大きい杉の木があったことからつきました。この木は、風が全くない日に倒れてしまい、この倒れた木で船を造って海に出したところ、たちまち壊れてしまったと言われています。

(2) 杉山町は、武田信玄と関係がある！？

ちんちん山：杉山の河内にあります。ここは、昔から深沈山（しんちんやま）と呼ばれていました。鎮沈山（ちんちんやま）とも言われていたそうです。亡くなった人の霊を沈めるという意味だそうです。ここは、かの有名な武田信玄との関係がとても深いそうです。信玄が運悪く流れ弾に当たってしまい大けがしたときに、ある隠れ家に身をかくして、けがが治るのを待っていたそうです。また、ある説では、天正3年（1575年）



武田一族の墓

長篠の戦いで、武田軍は織田、徳川連合軍の3000丁の鉄砲にもろくも総くずれになりました。その7年後に武田勝頼は死に、武田家は滅びました。その時に、武田一族がここ杉山の河内に逃げてきて、戦死した人たちの霊をとむらうために、このちんちん山という墓を建てたといわれています。刻まれた名前を見ると、武田信玄のほか一族、家来22人の人が祭られているそうです。

(3) 市民館にある忠魂碑はだれを祭っているの？

忠魂碑は、今から100年くらい前の日露戦争で戦った人達の魂をなぐさめるためのものだそうです。大正15年3月に、岡崎の石工、牧野政次郎さんが作り上げました。ここに刻まれていた方の名前が多かったのは、坂口、市川、鈴木、園部、中神です。40人の名前が刻まれていました。また、この日露戦争で戦った人は、約100万人、戦死した人は約12万人だそうです。杉山からも多くの人が戦争に行っていたなんてびっくりですね。 （杉山小 山内晴代）

